

校長通信②

レベル5でのコロナ対策

2学期が始まった当初は、熱中症が心配になるくらい暑い日が続きましたが、ここ2日ほどは雨模様の天候のため肌寒さを感じるくらい涼しい日が続いており、体温調整が難しい子どもや身体内部の不調を訴えづらい子どもにとっては辛い日となっています。

夏休み明けから全県が「感染警戒レベル5」となっており、3日から12日までは「命と暮らしを救う集中対策期間」として全県で対策を強化していくこととなっています。本校では、2学期の始業にあたり、感染警戒レベル5に対応した取組を行っています。保護者の皆様にも送迎のご協力をいただき、スクールバスの乗車人数も通常の半分ほどで運行しています。また、登校時の手指消毒と健康観察の徹底や食器の返却は職員が行うようにするなど、感染リスクの軽減に努めております。子どもたちも、マスク着用や手洗いなど、自分たちでできる対策を進めてくれています。

寄宿舍では、感染対策として、脱衣所ではカーテンで一人一人の更衣場所を区切り、就寝時は頭と頭の間には衝立を立てるなどの飛沫対策を講じています。



職員も、毎日の検温など健康観察に努めており、今月から職員室に非接触型体温計を設置し、検温の徹底も図っています。併せて、来校者用にも体温計を設置し、来校される方にも感染防止の意識を高めていただいています。



このような感染症に対しては、学校とご家庭との協力・連携が重要ですが、飯田養護学校は保護者の皆様のご理解とご協力があり、連携のとれた対応ができていることに感謝申し上げます。

今後も、感染症対策をしっかりと行いながら、子どもたちの学びが継続できるよう努めてまいります。